

作成日 2023年 11月 24日

## 安全データシート

### 1. 化学品および会社情報

化学品の名称	1,4-ジブロモブタン (1,4-Dibromobutane)
製品名	1,4-ジブロモブタン
製品コード	F-017364
SDS整理番号	ZC23062-01
会社名称	善ケミカル株式会社
住所	東京都台東区台東2-30-2 善ビル3階
電話番号	03-3839-5861
FAX番号	03-3839-5877
緊急連絡電話番号	03-3839-5861
推奨用途および使用上の制限	医薬原料

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性	該当区分なし
健康に対する有害性	該当区分なし
環境に対する有害性	該当区分なし

注) 上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については「分類対象外」、「区分に該当しない」または「分類できない」に該当する。

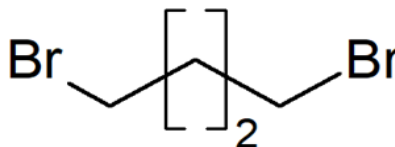
#### GHSラベル要素

絵表示またはシンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
注意書き	
【安全対策】	なし
【応急措置】	なし
【保管】	なし
【廃棄】	なし

### 3. 組成および成分情報

単一物質・混合物の区別	単一物質
化学名または一般名	1,4-ジブロモブタン (1,4-Dibromobutane)
慣用名または別名	1,4-ブチレンブロミド、テトラメチレンブロミド、テトラメチレンジブロミド
CAS番号	110-52-1
分子式 (分子量)	C <sub>4</sub> H <sub>8</sub> Br <sub>2</sub> (215.916)

#### 構造式または示性式



成分および濃度または濃度範囲	99.0%以上
官報公示整理番号	
化審法:	2-59, 9-2008
安衛法:	公表化学物質

### 4. 応急措置

吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	ただちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと、または取り去ること。 皮膚を多量の水と石けんで十分に洗うこと。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
眼に入った場合	水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。

無理に吐かせないこと。  
 気分が悪いときは医師に連絡すること。  
 適切な保護具を着用すること。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤 水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素  
 使ってはならない消火剤 棒状注水  
 火災時の特有の危険有害性 火災時に有害物質(一酸化炭素、二酸化炭素、臭化水素酸)を放出するおそれがある。  
 特有の消火方法 関係者以外は安全な場所に退去させること。  
 消火作業は風上の安全な地点から行き、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いること。  
 周辺火災の際は危険でなければ火災区域から容器を移動すること。  
 安全に対処できるならば着火源を除去すること。  
 消火活動を行う者の特別な保護具および予防措置 適切な自給式の呼吸器用保護具、眼や皮膚を保護する防護服(耐熱性)を着用すること。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置 個人用保護具を着用すること。  
 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止すること。  
 漏出場所の風上から作業を行い、風下の人を退避させること。  
 低地から離れること。  
 環境に対する注意事項 環境中に放出しないこと。  
 封じ込めおよび浄化の方法および機材 ウェス、乾燥砂、土、おがくずなどに吸収させて回収すること。  
 大量の流出には盛土で囲って流出を防止すること。  
 付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分すること。

## 7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い  
 技術的対策 『8.ばく露防止および保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用すること。  
 安全取扱注意事項 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。  
 適切な保護具を着用すること。  
 漏れ、あふれ、飛散しないよう注意し、みだりに蒸気を発生させないこと。  
 取扱い後は手や顔など、露出した部分をよく洗い、うがいをする事。  
 できれば密閉系で取扱うこと。  
 蒸気やエアロゾルが発生する場合には、換気、局所排気を用いること。

保管  
 安全な保管条件 容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管すること。  
 直射日光や火気、熱、スパーク、混触危険物質から離して保管すること。  
 安全な容器包装材料 法令の定めるところに従うこと。

## 8. ばく露防止および保護措置

管理濃度 未設定  
 許容濃度 日本産衛学会(2017年版) 未設定  
 ACGIH(2017年版) 未設定  
 設備対策 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。  
 ばく露を防止するため、装置、機器の密閉化あるいは局所排気装置を設置すること。  
 保護具 呼吸用保護具 防毒マスク、自給式呼吸器、送気マスク等。  
 手の保護具 不浸透性の手袋  
 眼、顔面の保護具 保護眼鏡(ゴーグル型)。状況に応じ保護面。  
 皮膚および身体の保護具 不浸透性の保護衣。状況に応じ、保護長靴。

## 9. 物理的および化学的性質

物理状態 液体  
 形状 透明  
 色 無色  
 臭い エステル様の臭い  
 融点/凝固点 -16.5℃  
 沸点または初留点および沸点範囲 197℃  
 可燃性 情報なし  
 爆発下限界および爆発上限界/可燃限界 情報なし

引火点	131℃
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	情報なし
動粘性率	情報なし
溶解度	
[水]	3.50E+002 mg/L
[その他の溶剤]	ほとんどの有機溶剤に溶解
可溶:	エーテル、アセトン、クロロホルム、エタノール
n-オクタノール/水分分配係数(log値)	2.99
蒸気圧	6.16E-001 mmHg [換算値 82.1128 Pa]
密度および/または相対密度(g/ml)	1.8080(20℃)
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	情報なし

## 10. 安定性および反応性

反応性	通常の条件下では安定
化学的安定性	適切な条件下においては安定
危険有害反応可能性	特別な反応性は報告されていない。
避けるべき条件	強塩基との接触を避ける。
混触危険物質	強酸化剤と強塩基
危険有害な分解生成物	臭化水素、二酸化炭素、一酸化炭素

## 11. 有害性情報

急性毒性	経口	データ不足
	経皮	データ不足
	吸入: ガス	GHSの定義における液体
	吸入: 蒸気	データ不足
	吸入: 粉じん および ミスト	データ不足
皮膚腐食性/刺激性		データ不足
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		ウサギを用いた眼刺激性試験で、本物質適用1時間後に3匹すべて、24時間後には2匹において結膜の発赤と浮腫を認めたが48時間後にはすべて回復し、本物質に刺激性は認められなかった。
呼吸器感作性		データ不足
皮膚感作性		データ不足
生殖細胞変異原性		データ不足
発がん性		データ不足
生殖毒性		データ不足
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		データ不足
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		データ不足
誤えん有害性		データ不足

## 12. 環境影響情報

生態毒性		
魚類		情報なし
甲殻類		情報なし
藻類		情報なし
残留性・分解性		0 ~ 36%(by BOD)、86%(by HPLC)
生物蓄積性(BCF)		40(推定値)
土壤中の移動性		
n-オクタノール・水分分配係数	2.99	
土壤吸着係数(Koc)	情報なし	
ヘンリー定数(PaM <sup>3</sup> /mol)	情報なし	
オゾン層への有害性		当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	<p>廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。</p> <p>廃棄に際しては適切な保護具を着用すること。</p> <p>廃棄の前に可能な限り無害化、安定化および中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にすること。</p> <p>都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。</p>
汚染容器および包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、またはリサイクルに関する情報	<p>容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。</p>

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

国連番号	該当しない
国連輸送名	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性等級	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
MARPOL73/78附属書II およびIBCコードによるばら 積み輸送される液体物質	該当しない

### 国内規制

陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	該当しない
航空規制情報	消防法の規定に従う。

輸送または輸送手段に関する特別の安全対策 消防法の規定によるイエローカード携行の対象物

その他の注意 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。  
重量物を上積みしないこと。

緊急時応急措置指針番号 該当しない

## 15. 適用法令

労働安全衛生法	変異原性が認められた既存化学物質(法第57条の5、平成5年5月17日基発第312号の3)
消防法	第4類引火性液体、第三石油類非水溶性液体(法第2条第7項危険物別表第1)
特定有害廃棄物輸出入規制法 外国為替及び外国貿易法	特定有害廃棄物(法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号) 輸出許可貨物・補完品目(キャッチオール規制)(法第48条第1項、輸出令第1条別表第1の16の項) 輸出承認貨物・特定有害廃棄物等(法第48条第3項、輸出令第2条別表第2の35の2の項) 輸入承認貨物・2の2号承認の第2(法第52条、輸入令第4条第1項第2号、昭和41年4月30日告示第170号・2の2の表の第2)

## 16. その他の情報

### 主な参考文献

安全データシート "1,4-ジブロモブタン", 職場の安全サイト 2018/03/16  
独立行政法人製品評価技術基盤機構 NITE統合版(2023/11/24 アクセス)

webデータベース "ezCRIC+"(2023/11/24 アクセス)

ウェブサイト "PubChem"(2023/11/24 アクセス)

安全データシート "1,4-Dibromobutane", 東京化成工業株式会社

### 記載内容の取扱いについて

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

改訂履歴 2023年 11月 24日 作成